

## 目標達成計画

作成日: 令和 1年 7月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	【1】	グループホーム独自の理念を法人理念と連動し、所属ユニットスタッフ・関連職員で理解をし、継続して理念にもとづくサービス提供を行っているが、地域貢献・繋がり意識をもった理念の実施に至っていないため理念の見直しを行う必要がある。	地域との繋がりをもつべく理念の再検討をはかる。また、法人・グループホームで行える地域の貢献方法を検討し、地域との交流を利用者様・職員ともに行えるようにするため理念の再構築をおこない実施する。	地域との繋がり・貢献を行うべくグループホーム理念を掲げ、所属ユニットスタッフ・関連職員にて地域性を理解し各自治体様・施設様(学校関係・福祉関係・他事業所)への参加(協力・助力)をさせていただき、当グループホームの社会貢献・地域交流とさせていただきます。	理念の再構築=3ヶ月 理念の実施=継続
2	【3】	現在の運営推進会議に家族様・自治体様・利用者様の参加をより多くいただく必要がある。また、当施設内で行われているサービス内容について説明をさせていただく機会をつくり、参加皆様から運営についてのご意見をいただく必要があると考える。	当施設関係者様や地域皆様の参加を多くいただき、当施設へのサービス内容に対する意見をいただくことでよりよい施設サービス提供を実施していく。	地域交流を当法人発信で行い施設と地域のパイプラインを獲得した後に地域(自治体・地域家族様)の皆様へ施設の運営推進会議に参加いただけるようにする。家族様に参加をいただくため「日時の指定アンケート」を実施し、家族様が参加しやすい開催日を設定をする。	6ヶ月
3	【13】	災害に備えての防災訓練を年2回実施しているが、昨今の災害は今までの災害の予想を上回る被害をだしていることから新災害対策を検討する必要があると考える。また、職員に常に教育を行っていく事で防災意識を高める必要があると考える。	昨今の災害に対して対応するべく災害時対応力を職員・関連職員につけてもらう必要がある。そのため新しく災害マニュアルの見直しを行う。又、法人との連携を行い災害時の対応方法を統一し、円滑で安全な避難方法計画を作成する必要がある。	非常災害対策計画上の修正を法人にて話し合いを行い、実際の訓練を行った内容と照らし合わせ作り込みを行う。当法人の職員・関連職員に災害時の対応方法を周知し、実際の訓練をおこなっていただくことで実際の災害対策としての意識付けを行う。また、社会福祉法人としての義務をさせていただき災害時の地域支援を理解いただく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。